

Ⅲ 第3期岡山市教育振興基本計画令和5年度アクションプランにおける主な事業

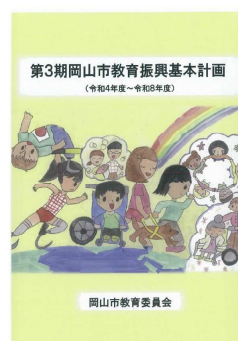
1 岡山市の教育理念を実現するための6つの政策

本市では、岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（愛称：岡山っ子育成条例）第8条に掲げた市の責務を計画的かつ効果的に履行することで、条例に掲げた教育理念の実現を図るため、平成25年1月に第1期岡山市教育振興基本計画を策定しました。また、本市の全体計画である総合計画や学習指導要領の改訂など教育全体を取り巻く環境も変わってきたことを受け、平成29年には第2期岡山市教育振興基本計画を策定し、教育行政を展開してきました。

予測が困難な時代にあつて、子どもを取り巻く環境は急速かつ大きく変化してきており、それに伴って子どもに必要とされる資質・能力も変化しています。

そこで、これまでの取組を見直すとともに、第2期岡山市教育大綱に則す内容として、令和4年策定の第3期岡山市教育振興基本計画では、様々な変化に積極的に向き合い、多様な人々と協働しながら課題を解決していく子ども、情報を活用したり、自分で考え、表現したりすることができる子どもの育成を目指すこととしました。

令和8年度まで、この計画に基づいて教育行政を展開し、引き続き本市が目指す教育理念の実現に向け取組を進めていきます。



【政策1】主体的な学びの推進による確かな学力

の育成

確かな学力の育成を目指し、発達段階に応じた継続的な学習指導や支援を通して、子どもが主体的に自分の考えを表現したり、理由を説明したりする学習活動の充実を図ります。また、ICTや図書資料等を効果的に活用する授業を推進し、情報活用能力の育成やグローバル化等に対応した英語教育等の充実を図ります。さらには、地域人材を活用して探究的な学習を進めるなど、家庭や地域社会と連携して子どもの豊かな学びを育む教育活動を進めます。



【政策2】人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成



豊かな自然環境や文化芸術に触れる体験活動、道徳科の授業等を通して、思いやりの心や規範意識、向上心を育成するとともに、地域の一員としての意識を育みます。また、地域の自然や歴史への興味・関心を高めるために文化財や美術館の活用、保存・整備を進めます。さらには、キャリア教育を進め、社会人としてのマナー等を身に付け、自分らしい生き方を実現するための資質・能力を育成します。

【政策3】健康教育の充実による健やかな体の育成



体力・運動能力の向上を図るとともに、健康で安全な生活を送ろうとする態度を養うために、日常的で自発的な運動習慣の定着や安全教育の充実を図ります。また、計画的に食育を推進するとともに、貧血などに関する客観的な数値を示して自らの生活を見直すなど、家庭や地域社会と連携しながら、より良い食習慣・生活習慣の定着を図ります。

【政策4】一人一人の育ちを支える指導・支援の充実

安心して学び合うことができる集団づくりや仲間づくりを進め、子どもが「学校が楽しい」と思える基盤づくりや、問題行動等の未然防止に取り組みます。

また、多様な背景をもつなど、支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、関係機関と連携し、専門的な相談ができる体制づくりや校内の支援体制の充実を進めます。



【政策5】学校園の教育環境の充実



教職員の資質・能力向上に資するため、教職員研修の充実を図るとともに、若手教職員の授業力等の向上に係る取組を推進します。また、教職員が、教材研究などに専念する時間や、子ども一人一人と向き合う時間を確保できるよう、教職員への支援体制を充実させます。あわせて、子どもたちの多様な学びの機会を保障し、質の高い教育を目指すため、ICT環境の充実など、より良い教育環境の整備を行います。

【政策6】家庭、地域社会の教育環境の充実

家庭教育に関する学習機会の提供、家庭教育支援団体相互のネットワーク強化などを通して、家庭教育を支援し、家庭における教育力の向上を図ります。また、学校支援ボランティアの活動を充実するなど、地域ぐるみで学校園を支える体制づくりを進めるとともに、地域の多様な人々と連携し、学びを通じた持続可能な地域づくりの取組の充実を図ります。さらには、家庭、学校園、地域社会が協働して、未来を担う子どもを持続的に育てていくことができるよう、学校運営協議会の役割の理解促進と協議会の活性化に努めます。



柱1

やる気につながる好奇心の醸成

「やる気につながる好奇心」とは、子どもが本来もっている、人との関わりや様々な活動の中でおもしろがったり、「どうして?」と知りたくなったりする気持ちのことで、子どもが学びに向かう原動力になるものです。この「やる気につながる好奇心」を育てていくためには、子どもが人や自然、文化などとの関わりを通じた気付きを実感できるようにし、それを学ぶ意欲につなげていくことが最も重要です。

岡山市が目指す子どもの育成に向けて、子どもの好奇心を引き出し、広げ、やる気につなげることを繰り返していくことに、令和5~7年度の3年間、重点的に取り組みます。

創る

好奇心を引き出す
体験活動の充実

◎:拡充事業 ★:新規事業

★めだかの学校における展示等施設の充実

【生涯学習課】

高精細動画による新たな展示や、展示解説システムの導入

- ・ わくわく探険隊【地域子育て支援課】
初めて出会う人たちと協力して行う、自然の中での体験活動の実施
- ・ 文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用【文化財課】
埋蔵文化財センターにおける夏休み期間中の勾玉づくり等体験講座の実施
- ★ オリент美術館学校連携推進事業【オリент美術館】
子どもが鑑賞に親しむための、ICTを活用した情報可視化ツールの導入
- ・ 運動習慣定着化事業【保健体育課】
子どもが日常的、自発的に運動に取り組むための運動取組カードの作成、配布

応える

好奇心を広げるための
家庭への支援の充実

- ・ 家庭教育支援事業【生涯学習課】
家庭教育に関するリーフレット作成、イベントの開催
- ・ 絵本の読み聞かせ事業【中央図書館】
絵本の選び方、読み聞かせに関するアドバイス等を記載した資料の配布
- ・ 子育て支援「のびのび親子広場」事業【幼保運営課】
未就園児が園で遊ぶ機会や、参加した保護者への子育て情報の提供

高める

好奇心をやる気につなげる
教員の指導力向上

- ・ 学びづくり推進プロジェクト【学校指導課】
学校の授業改善と授業の振り返りの取組を推進する授業モデルのリーフレットの作成、配付
- ・ 共に生きる子どもを育てる障害児支援事業【教育支援課】
特別支援教育の視点を生かした効果的な指導方法や指導内容の研究・普及
- ◎ ICT環境整備事業(保護者連絡ツールの新規導入を含む)【教育研究研修センター】
1人1台端末などのICT環境の充実に向けた学校ICTヘルプデスクの機能拡充等

子どもの好奇心

急速に変化する教育環境の中で、目指す子どもを育成していくためには、教職員の資質・能力の向上とともに、学校園が、子どもにとっても教職員にとっても、安全安心で快適な学びの場でなくてはなりません。

そのため、「**学校園環境の充実**」を図ることが「**多様な人材の確保**」につながり、「**核となる人材の育成**」がさらに充実した学校園環境につながっていくという好循環を生み出し、教職員がこれまで以上に「子どもに向き合う時間」を充実させることができる環境づくりを進めます。

○好循環のイメージ

◎:拡充事業 ★:新規事業

(1) 学校園環境の充実

安全安心で快適な学びの環境づくりに向けた物的・人的等の支援

主に政策1、4、5

- ◎部活動指導員配置事業(部活動地域移行モデル事業を含む)【保健体育課】
教職員の負担軽減と部活動の充実を目的とした部活動指導員の配置
休日部活動の地域移行に向けたモデル事業の実施
- ◎学校給食費の公会計化【保健体育課】
教職員の負担軽減を目的とした給食会計の公会計化
- ◎学校空調設備整備事業【学校施設課】
小中学校の特別教室等への空調設備の整備

充実した学校園・職場環境を創出する

(2) 多様な人材の確保

新規卒業者、教職経験者など、様々な人材の採用に係る取組

主に政策5

- ◎魅力ある教員の確保事業【教職員課】
積極的な求人情報発信、説明会(オンラインを含む)の実施
選考時期や実施方法の見直し、初任者の給与改善

魅力ある学校園・職場に人材が集まる

(3) 核となる人材の育成

研修の充実に向けた施設整備及び研修システムの構築

主に政策5

- ・OJT若手教員育成支援プロジェクト【教育研究研修センター】
OJT支援員による若手教員への直接支援
若手教員育成支援体制の構築・充実
- ・教職員の力量を高める教育研究事業【教育研究研修センター】
校内研修の活性化のための研究成果物の活用促進
- ★新教育研究研修センター(仮称)整備事業【教育研究研修センター】
整備に向けた基本設計及び地質調査契約に向けた事務
教職員の資質向上に向けた個別最適な研修実施環境の整備

**資質・能力のある、
多様な経験をもつ
人材が次々と育つ**